

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 31日

事業所名 SunKids

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		広いスペースは確保されている。感染等が生じた場合はサークルで区別できる。	基準よりも生活介護事業へ向け、より広いスペースがある。それぞれが整理整頓を心掛けながら、仕事を行う。
	2	職員の配置数は適切である	9		医ケア児に対しての看護師の人数	送迎時の人員の工夫をおこなう。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		全員で行えるようにする。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	6		わからない。第三者による外部評価できてない。施設内ではできている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		定期的な勉強会・研修は実施できている。	ヒヤリハットや急変対応等の実技もあってもいいように思う。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9		疾患の予後予測を理解した上で保護者のニーズに添えるよう計画立案している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2		今後、標準化されたアセスメントツールを検討する
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	全体で話し合っている。保育は保育士・児童指導員が主にプログラムをしている	支援計画に沿って実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		季節や時期に合った活動内容が行えるように工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9		子ども達の体調により集団実施、また野外活動等も行っている。	集団活動は少ない。子ども達の体調等考慮して行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1		できている人、できていない人で差があるので、朝の情報共有以外にも子どもの発達状況等、話し合えるカンファレンスの場があるとよい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1		勤務時間も異なることもあり出来ていない。終了後、全体で行えていないため振り返りの時間を設ける。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		Googleカレンダーの連絡、特記事項にて記録	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	1	3カ月、6カ月と定期的に行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		コロナ禍によりFAXでのやり取りだがふさわしい者が返答を行っている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	2	7	登校が難しい児童の日中預り	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	1	指示書の発行をお願いしている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	1	移行する場合は情報共有を行っている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9		まだ卒業生がいない。その時は対応する。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9		療育センター主催の研修に参加	重心児の集まりや医ケア・居宅・児発等の研修参加。情報交換等行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	7		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	7		コロナ禍もありできていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		Googleカレンダーや送迎時、家庭訪問等で情報共有を行えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	4		必要時支援を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9		コロナ禍ではあるがイベントを数回行うことができる。	11月に地域交流会・家族交流会を実施でき、保護者同士の情報交換等できた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9		情報共有も行い、話し合いをし、対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1	年間行事・活動概要等、活動カレンダーやおたより、メールでの発信でお知らせしている。	活動状況などは連絡帳にて行えている。季節ごとに会報等もあっても良いように思う。
	35	個人情報に十分注意している	9		鍵をかけ保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9			
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	2		今後保護者も交えて行っていく。詳しくできてない。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		年2回以上実施。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		勉強会にて共有することが出来た	研修機会の確保
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9			やむを得ず行う場合を決定しておらず、全体で統一する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9		対象者なし	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	3	小さな気付きも共有できるようにしていく。LINE等で共有はできている。	ヒヤリハット事例を用いた勉強会などもあるとよいと思う